

3. 沖縄県観光の概況

2. 国内・国際航空ネットワーク

● 主要国内航空路線の現状

出発地	空港	発着便数/週
東京(羽田)	HND	217
福岡	FUK	133
東京(成田)	NRT	50
大阪	KIX	99
名古屋	NGO	70
合計		525

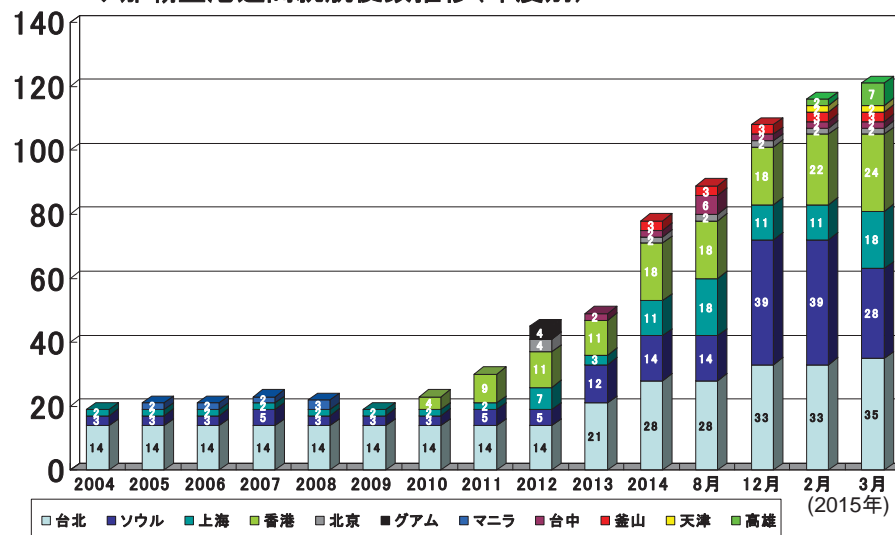
● 国際航空路線の現状

2015.5.11現在

出発地	空港	発着便数/週	出発地	空港	発着便数/週
台北=那覇	TPE	42	台北=石垣	TPE	2
台中	RMQ	2	高雄	KHH	7
ソウル	ICN	28	釜山	PUS	3
上海	PVG	18	北京	PEK	2
天津	TSN	2	香港	HKG	24
合計					130



◆ 那覇空港週間就航便数推移(年度別)



4. MICE推進における沖縄県の方針

誘致ターゲット

●政府等が関与する国際会議等

「国際会議等各種会議の沖縄開催の推進について」(H12年6月20日閣議了解)に基づき、政府及び関係機関が開催する国際会議等

→MICE開催地としてのブランド力や都市のステータスの向上を図る

「太平洋・島サミット」(H15年・H18年・H24年)

「地球温暖化防止とサンゴ礁保全に関する国際会議」(H25年6月)

「Cyber3 Conference 2015 in Okinawa(仮称)」(H27年11月)

「第22回国際動物学会議」(H28年11月)

●沖縄21世紀ビジョンに掲げる各戦略の推進に寄与する情報発信力の高いMICE

観光、文化、スポーツ、航空・空港、物流、日中韓等アジア、健康・長寿、科学技術、保健、海洋・島嶼、環境等をテーマにしたMICE

→ネットワークの機会提供、ビジネスチャンスの創出効果により、主要戦略の推進を後押しする

「高エネルギー核物理学におけるコンピューティング第21回国際会議(CHEP2015)」(H27年4月)

「第20回アジア太平洋造血細胞移植学会年次学術集会」(H27年10月)

「Routes Asia 2017」(H29年3月(予定))

●高い経済波及効果が見込まれるMICE

①企業インセンティブツアー ②エグゼクティブミーティング

③医科学系のコンベンション ④大型イベント・コンベンション

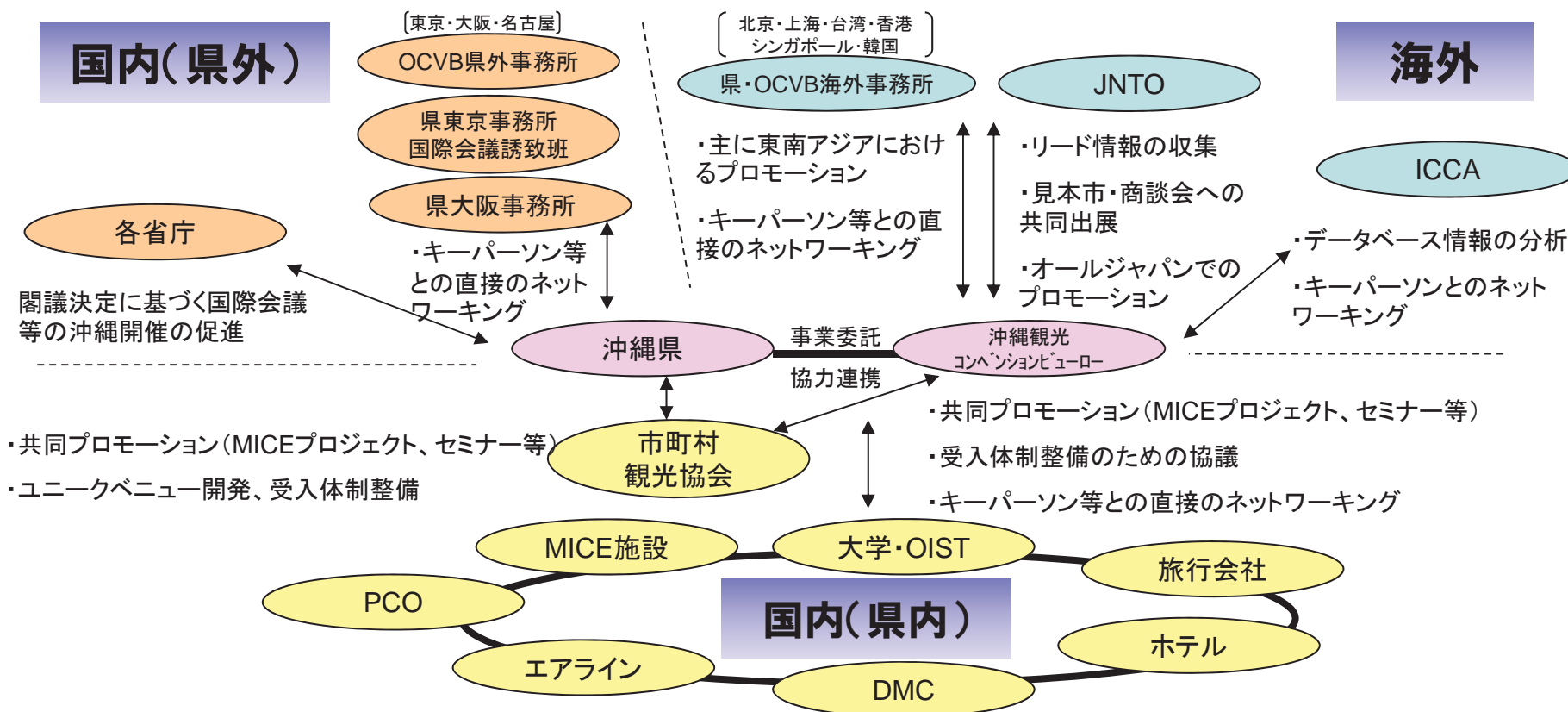
→「世界水準のリゾート地」としての沖縄県の地位確立に寄与する

「第4回 日本精神医学会学術大会」(H27年10月, 2,000名)

「第35回 医療情報学連合大会」(H27年11月, 3,000名)、「第17回アジア弁理士協会総会」(H27年11月, 1,600名)

5. 沖縄県におけるMICE誘致の取組と現状

- 海外：既存のルートと独自のネットワークを活用した積極的な情報収集、プロモーション活動、誘致・開催活動
- 国内（県外）：国内主要都市における沖縄プロモーション活動、政府系会議の誘致活動
- 国内（県内）：情報収集、プロモーション活動、誘致・開催活動の各段階・場面に応じたステークホルダーと連携強化



5. 沖縄県におけるMICE誘致の取組と現状

1. 主な取組

- (1) 誘致・広報活動：海外見本市・商談会への出展、セミナー開催（JNTOとの共同出展等）
- (2) 開催支援：インセンティブツアー、コンベンションの開催・視察支援、芸能アトラクション派遣
- (3) 沖縄MICEコンテンツトレードショー（商談会）の開催
 - ・国内外のメディア、旅行会社、キーパーソン等と県内企業との商談会の開催
 - ・MICE関連施設の視察、沖縄の魅力を活かしたチームビルディング体験等
- (4) ファムツアー、キーパーソン招聘
- (5) MICE関連事業者、学会主催者とのネットワーク構築
 - ・国際会議等を開催する学会関係者や各種団体への訪問
 - ・最新のMICE関連情報の発信



2. 課題

アジア地域・国内大都市のMICE誘致競争が激化



- 「グローバルMICE強化都市」への提案
- 競合都市との差別化を図った戦略的な誘致活動が不可欠

5. 沖縄県におけるMICE誘致の取組と現状

3. 開催実績

●沖縄で開催されたMICE

※1 沖縄コンベンションセンター、万国津梁館での開催件数のみ

※2 MICE参加者数とは、海外及び県外からのMICE参加者数を指す

※3 H24～26年度の参加者数については、精査が必要な不確定人数を除く。

	H21年度 (2009年度)	H22年度 (2010年度)	H23年度 (2011年度)	H24年度 (2012年度)	H25年度 (2013年度)	H26年度 (2014年度)
MICE開催件数 (件)	637	598	486	531	557	574
MICE参加者数 (人)	76,709	67,986	66,195	74,953	81,224	88,222

5. 沖縄県におけるMICE誘致の取組と現状

3. 開催実績 ※国外参加者が10名以上の会議

●沖縄で開催された国際会議

(件)

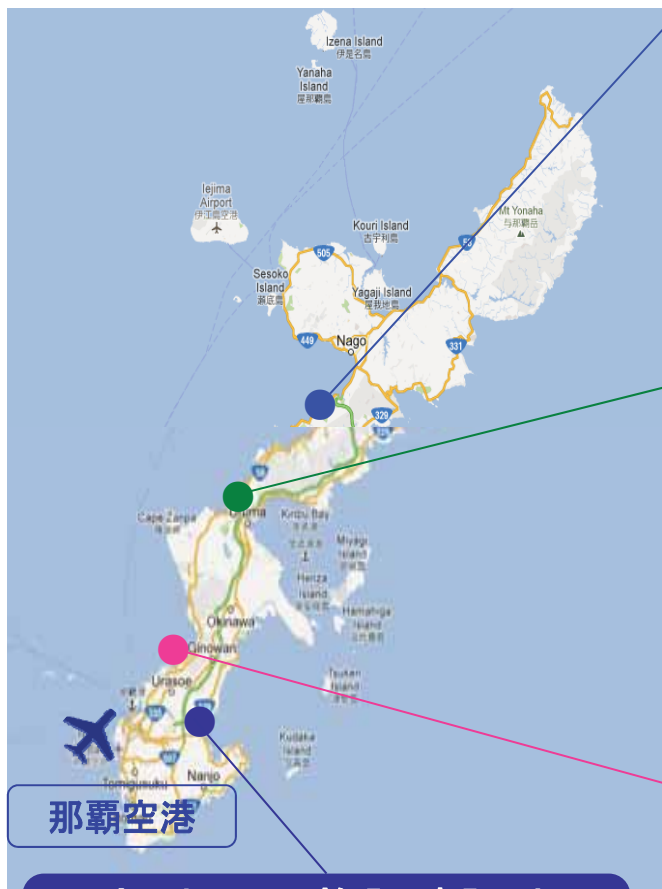
開催場所 \ 年度	H21年度 (2009年度)	H22年度 (2010年度)	H23年度 (2011年度)	H24年度 (2012年度)	H25年度 (2013年度)	H26年度 (2014年度)
沖縄コンベンションセンター	14	12	16	9	8	17
万国津梁館	15	13	22	25	17	23
その他会場	34	34	21	31	26	33
合計	63	59	59	65	51	73

●沖縄で開催された政府又は国際団体主催の国際会議 ※内閣府調べ

(件)

年度	H21年度 (2009年度)	H22年度 (2010年度)	H23年度 (2011年度)	H24年度 (2012年度)	H25年度 (2013年度)	H26年度 (2014年度)
計	11	19	15	24	28	40

6. 多様なMICE施設

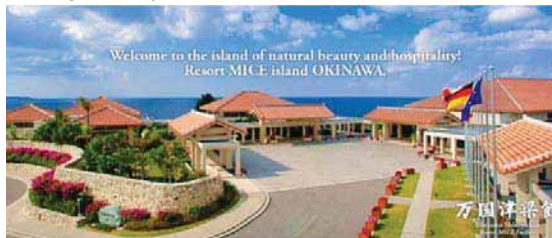


**大型MICE施設建設地
(マリンタウン東浜)**

- 2020年度供用開始予定
- 空港から約22分(道路整備後)
- 最大収容人数: 20,000人規模(展示場)

● 万国津梁館(名護市)

「九州・沖縄サミット」会場となったラグジュアリーリゾート型MICE施設。
最大収容人数: 500名(サミットホール・シアター形式) 空港から約75分。



● 沖縄科学技術大学院大学(OIST)(恩納村)

各国から研究者が集う世界に開かれた研究教育機関。
最大収容人数: 496名(講堂) 空港から約60分。



● 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)

展示場、劇場、会議場、分科会場等の機能を有した県内最大規模のMICE施設。最大収容人数: 4,000名(展示場・シアター形式) 空港から約40分。



7. 新規大型MICE施設の整備(2020年度供用開始予定)

【現状】近年、県内既存施設の規模不足により、大型化するMICEに対応できず、誘致に結びつかない事例が増加。

【施設概要(基本構想)】

多目的ホール 7,500㎡	<p>■ミーティング、インセンティブ・トラベル 5,000～10,000人規模 ⇒5,000人会議、分科会、併設展示会の同時開催が可能 ⇒ディナー形式で4,000人の収容が可能</p> <p>■コンベンション、イベント 最大20,000人規模 ⇒展示会、コンサートで利用可能な大規模スペース</p>
中小会議室 20～30室	
展示場 20,000㎡	

